

とみおかまち



vol.17

[発行日]
2022年3月4日



支援員だより

発行 富岡町県外避難者支援拠点事務所 〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤6-4-21 一般社団法人 埼玉県労働者福祉協議会 内

お困り事など、どうぞお気軽に！
連絡待っているっぴ



TEL 048-832-0600

FAX 048-833-8746

MAIL tomioka_saitama@eos.ocn.ne.jp

新町長

県外避難者支援 拠点事務所へ来所



町長と支援員



富岡町県外
避難者支援拠点事務所内

令和3年11月4日に、県外避難者支援拠点事務所に山本新町長が来所され、懇談会を実施しました。

震災から10年が経過し、避難先での生活や抱える問題も多様化しています。日頃皆さまからお聞きしている富岡町への思いを町長にお伝えしました。

山本町長からは、「徐々にではあるが町内での生活環境整備が着実に進んできた。あらゆる方の心に寄り添い、各地域でコミュニティを強くしたり新たに作ったりするなど、ソフト面での支援により力を入れていきたい」との考えをお聞きしました。そのほか、医療費一部負担金免除と高速道路無料化の延長など多岐にわたり意見を交換しました。

当事務所としては、富岡町の提唱する「第三の道」の考え方に沿って、県外避難者支援の活動を継続してまいります。



県外避難者を対象に 戸別訪問を行っています！

戸別訪問を再開

新型コロナウイルス感染症の感染者数が落ち着き始めた11月から、約2年ぶりに戸別訪問を再開いたしました。

初めてお会いする方、久しぶりにお会いする方、最近連絡が取れなく突然お邪魔した方など様々でしたが、温かく迎えていただきありがとうございます。ご家族の思い出話や趣味などの話題で盛り上がる事が多く、富岡町の将来や浜通り全体での復興計画が必要などのご意見もいただきました。また、富岡町の土地や住宅でお困りの方が多かったです。

久しぶりの訪問なので、私たち支援員も緊張しましたが、平均訪問時間は1軒当たり1時間強となり、長いときには4時間ほど話し込むこともありました。訪問を喜んでいただけたと思います。

コロナウイルス感染症が収束した折には、また皆さまに会いに行きますのでお待ちください。

11月～12月の訪問先

青森県	2
宮城県	6
長野県	2
新潟県	2
石川県	2
栃木県	5
茨城県	13
埼玉県	16
東京都	1
千葉県	2
神奈川県	8



埼玉県川口市



茨城県稲敷郡美浦村



石川県金沢市



栃木県那須郡那須町

支援団体訪問の報告



11月からの戸別訪問に併せて、各県の支援団体を訪問し、連携を深めました。

宮城県では、「みやぎ連携復興センター」を訪問し、「みやぎ・富岡さくら会」の支援についてのお礼とこれからのバックアップもお願いし、浜通りの今後についても意見を交換しました。

石川県では、「石川県災害ボランティア協会」を訪問し、富岡町民に対しての見守り活動に対してのお礼と、引き続きの支援をお願いし、今後も協力・連携していくことを確認しました。

新潟県では、「新潟県社会福祉士会」と柏崎被災者サポートセンター「あまやどり」の皆さんと話し合いを行いました。「あまやどり」の活動は令和4年3月で終了とのことで、これまでの活動に対してのお礼を伝えました。これからは、「地域活動サポートセンター柏崎」に合流されるとのことで、引き続き、富岡町民に対しての支援をお願いしました。



みやぎ・富岡さくら会 会長



石川県災害ボランティア協会



みやぎ連携復興センター

富岡町の視察

令和3年10月末、富岡町の視察を行いました。コロナ禍で、富岡町役場と県外避難者支援拠点事務所の対面での会議等の開催も難しくなりましたが、感染者が下火になってきたタイミングで、約2年ぶりに実施しました。

復興が進む富岡町では、「とみおかアーカイブ・ミュージアム」を見学しました。町民の協力で貴重な資料が収蔵されています。常設展示室には富岡町の歴史や震災と原子力災害の記憶を継承し、経験を発信する施設となっています。建設中の「富岡町共生型サポート拠点施設」も車窓から見る事ができました。環境省の体験型情報館「特定廃棄物埋立情報館リプルンふくしま」も見学しました。

また、特定復興再生拠点区域の視察もさせていただきました。除染は進んでいるようで、解体作業が終了し空地となっている場所も多くありました。10年が経過しても新築を感じさせる住宅もありま

少しずつ復興が進んでいることを確認できる視察になったっぴ



した。

富岡駅前から「さくらモール」を中心に、町も整備されて新しい町が産声を上げていると感じました。

富岡駅と富岡漁港周辺の整備も進んでおり、新しい陸橋うしおぼし(汐橋)からは広大な太平洋を望むことができました。大きなホテルが建設されていて、ワイナリー等も新たに作られ、観光の拠点にもなりそうです。少しずつですが、復興が進んでいることを確認できる視察となりました。

その一方、10月下旬の視察ということもあり、富岡駅前は閑散としており、常磐線の乗客もまばらで、少し寂しい感じがありました。

早く震災前の賑わいを取り戻せたらと思いながら視察を終えました。



ホテル蓬人館(小浜)



とみおかアーカイブ・ミュージアム(王塚)



JR富岡駅周辺

編集後記



今年度は、コロナ禍で活動が制限され、電話訪問が中心となりました。イベントが少なくなり、支援員だよりを発行することが難しくなりました。来年度は桜まつり・えびす講市へのバスツアー、サロンなども開催したいと考えております。コロナウイルス感染症の収束を心から願います。皆さまも感染対策を万全にお願いいたします。